



2025年8月7日

各 位

会 社 名 理 研 計 器 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 松本 哲哉
(コード番号 7734 東証プライム)
問合せ先 執行役員管理本部長 田島 秀二
(TEL : 03-6454-9922)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）

当社は、2024年8月7日にて公表いたしました「持続的な企業価値の向上に向けて～資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について～」に関する進捗状況等をアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「持続的な企業価値の向上に向けて～資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について～（アップデート）」をご覧ください。

以 上

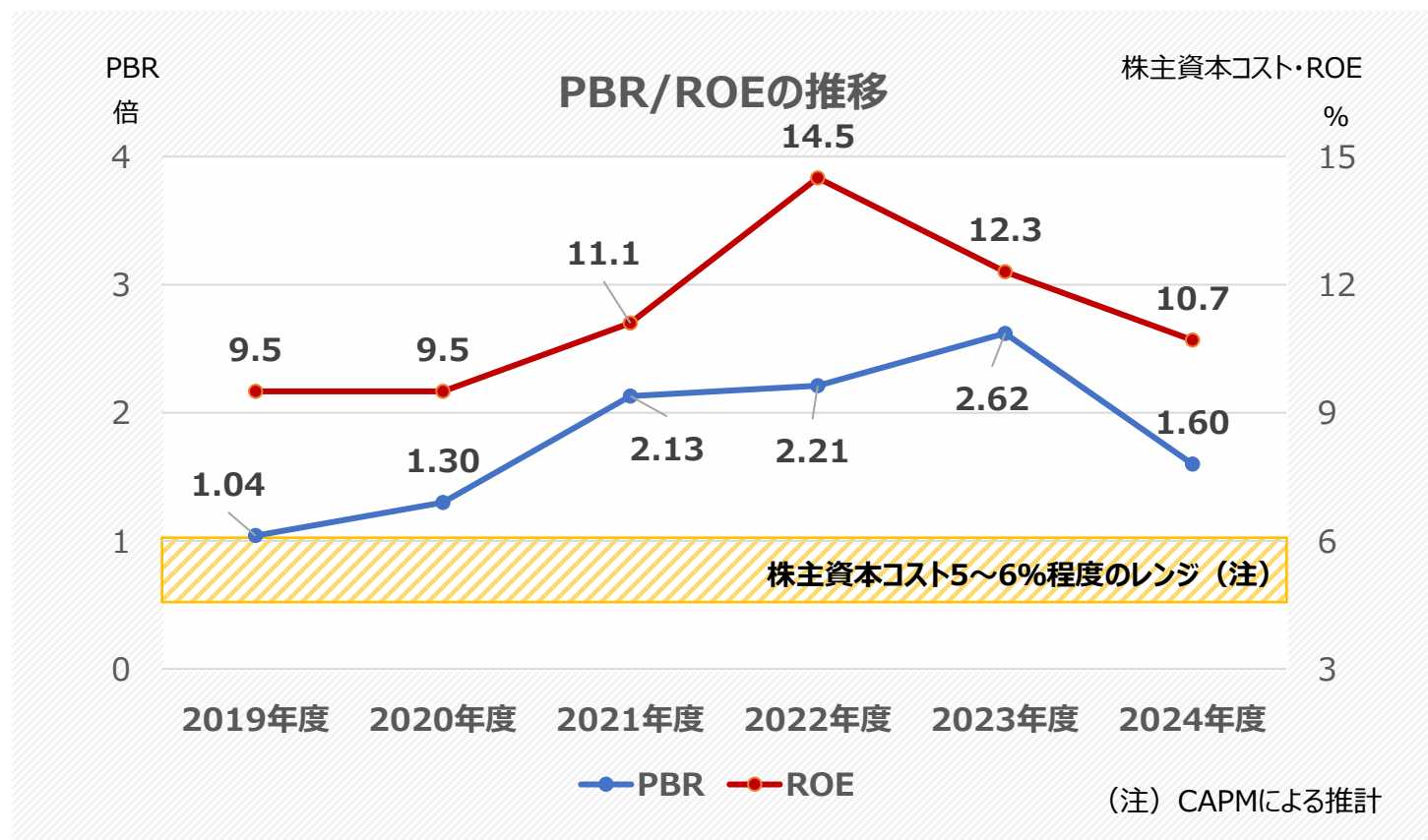


持続的な企業価値の向上に向けて
～資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応～
(2025年8月7日 アップデート)

理研計器株式会社

現状分析

- PBRは1倍以上を維持
- ROEは、株主資本コストを上回る水準で推移



ROE目標の考え方について

経営指標目標

ROE10%以上の水準を維持、ROE> 株主資本コスト

上記目標に関する考え方

近年の半導体業界の需要拡大、海外事業拡大等に伴う増産効果により、資本収益性は大幅に改善しました。その一方で、急激な売上拡大に対応するための体制整備、人件費上昇、為替リスクを考慮し、さらに株主資本コストも勘案し、ROE目標は10%以上の水準を維持することを目標としております。

ROE>株主資本コストを実現するための具体的な施策

▶ 事業のさらなる収益力向上と資本効率化

- ・国内外の半導体業界の設備投資増による需要増加を見越した生産能力拡大、競争力強化
- ・海外拠点の整備、海外事業戦略の展開による海外市場シェア拡大
- ・脱炭素社会向けのソリューション展開、ガス検知器のIoT対応、M&Aによる投資

▶ 資本収益性を高める資本・財務戦略の推進

- ・資本収益性、事業リスク、格付けなどの観点踏まえた最適財務バランスの追求
- ・長期的に安定した株主還元の実施

キャッシュアロケーション

ソース

営業キャッシュフロー

外部調達等

アロケーション

成長投資

- 海外における販売体制強化
(半導体・船舶・EPC)
- 研究開発投資
- M&A、共同開発

基盤強化

- 人的資本経営の推進
- サプライチェーンの再構築
- 新基幹システムの導入
- 設備の維持・更新投資

株主還元

- 長期的な安定配当
- 機動的な自己株式の取得

内部留保

- 将来投資への充当

持続的な企業価値向上に向けた長期展望

- 売上高・利益の成長に加え、資本効率を高めることで資本コストを意識してROEの目標達成に取り組めます。
- 長期的な企業価値向上ストーリーの基本 3 テーマを
①収益性向上、②成長投資、③資本コスト低減 とし、
それらを具現化するグループ重点戦略を選定の上、個別施策を推進します。

基本テーマ

①収益性向上

- シェア拡大に向けた製品開発強化
- R K ブランドのグローバル展開
- 顧客ニーズor市場変化に対応した新技術開発

②成長投資

- 需要増を見越した生産体制の強化
- 拠点整備のための設備投資
- 業務効率化のためのDX投資
- 戦略的M & Aの投資
- 人財投資

③資本コスト低減

- IR面談の実施、情報開示の充実による投資家との情報格差の縮小
- 長期的安定配当を踏まえた株主還元の実施

事業成長に向けたグループ重点戦略

国内市場戦略

- 需要急増に対応する生産体制の整備
- 生産性向上による競争力強化

海外市場戦略

- 海外子会社の体制整備
- 海外メンテナンス体制強化

新領域戦略

- マーケティング体制の強化
- 脱炭素化・CNなど市場要求に基づいた新製品起案

人財戦略

- 人的資本経営推進
- 技術力伝承を前提とした教育体制
- 教育環境や働く環境の整備

サプライチェーン戦略

- 製品の安定供給に向けた見直し
- サプライチェーンの再構築

DX戦略

- 保守管理業務の電子化、ERP更新
- ガス検知器付帯データの利活用

IoT戦略

- 通信技術、アプリ活用、クラウド対応等によるサービス収益の創出に挑戦

ガバナンス戦略

- 海外子会社含むガバナンス体制の見直し

IR活動による株主・投資家対応

- 24年4月の株式分割の実施による投資単位の引き下げにより、投資家の皆様が投資しやすい環境を整え、より幅広い層からの投資を呼び込みました。
- 機関投資家、証券アナリストとのIR面談において、個別のみならず集団面談を行うことにより、より多くの機関投資家との面談を行ったほか、決算説明や統合報告書、英文開示の充実を通じて投資家とのエンゲージメント向上を図りました。

決算説明（和文・英文）



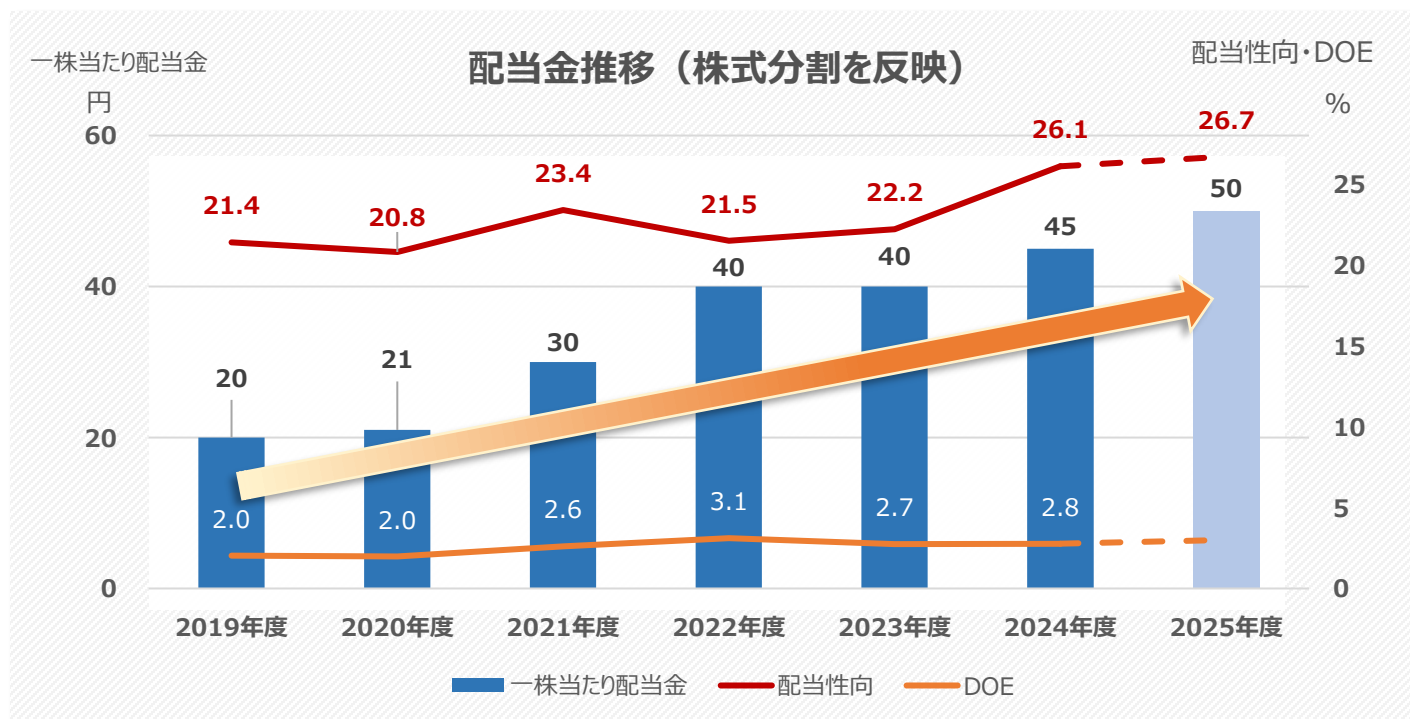
※中間・期末の年2回の開示

統合報告書（和文・英文）



株主還元の方針

- 長期的な利益還元を重視し、持続的な利益成長に応じた増配を図る安定配当を基本方針としています。
- 上記方針のもと、2024年度の1株当たり年間配当金は45円とし、前年度比で5円増額しました。2025年度は2024年度比で5円増額することを予定しています。
- 今後は、長期的な安定配当や機動的な自己株式の取得を基本方針として、財務体質の強化や成長に向けた研究開発・設備・人財投資との最適なバランスを図り、株主還元に取り組めます。



※2025年度の一株当たり配当金と配当性向は、決算短信における公表値です